

27 焼板木工

(料金100円)

杉板の表面が炭になるまで焼いて乾かした後、絵の具で好きな文字などを書き、オリジナルの作品を作る創作活動である。

1 ねらい

木材の特徴を活かし、創作の喜びを味わうとともに、手作りの良さ、自然木の美しさを知る。

2 対象及び最大人数 小学校4年生以上 80人

3 所要時間 160分

4 準備

- (1) 材料 杉板、ヒートン、かざりひも、絵の具
- (2) 道具 火挟み、金たわし、まき、バーナー、軍手、筆、絵皿、バケツ、新聞紙、きり、のこぎり、絵の具

5 制作

- (1) 表面及び側面の焼き残しに気をつけ、杉板全体が黒くなるまで焼く。
- (2) 水洗いして炭をよくおとして乾かす。
- (3) ヒートンをつけ、ひもとのおす。
- (4) 文字や絵を書き入れる。
- (5) 火の余熱で乾かす。



6 留意事項

- (1) 杉板をさわっても炭が手につかなくなるまで、木目に沿ってきれいに炭の部分を洗い落とす。
- (2) 雨天時など湿気が多く乾きにくいときは、雑巾や新聞紙で水気をとると乾きが早い。文字や絵を書くときには、きちんと乾いているかを確認する。
- (3) 杉板がかたくヒートンをつけられない場合は、きりで穴をあける。
- (4) 火の取り扱いに十分注意する。